

## 10. 靈的成長入門

ペテロの手紙#10

<https://ichthys.com/Pet10.htm>

ロバート・D・ルギンビル博士著

**復習:** これまでの学びで、ペテロが第一の手紙の冒頭で、三位一体の神がそれぞれ深く関わっておられることを、信者たちに思い起こさせていることを見てきました。当時の初期のクリスチャンたちは、非常に厳しい状況に直面しており、そのために大きな不安と動揺を感じていました。しかしペテロは、そのような状況の中で心を失ってはならないと勧めています。むしろ、彼らが置かれている立場や環境を、「信仰の視点 (faith perspective)」から見つめ直すべきだと教えているのです。

**信仰の視点:** 世の中の目から見ると、紀元一世紀のこれらの人々は、落伍者であり、社会ののけ者のように思われていました。しかし、「信仰の目 (faith vision)」によって見ると、まったく異なる現実が見えてきます。神の目から見れば、彼らは皆「勝利者」だったのです。彼らは、この世においても将来の永遠の命においても、計り知れない祝福を受けるために神ご自身が特別に選ばれた人々でした。キリストを信じることによって、彼らは神のご計画 (the Plan of God) の中に組み込まれ、その一人ひとりに対する個人的な神のご計画が、人間の目には見えない方法で確実に前へと進められていたのです。いったい誰が見抜くことができたのでしょうか。一彼らを信仰へと導くために、父なる神がその人生を一つ一つ注意深く導いておられたことを。一ちょうど定められた時に、彼らがキリストを信じることができるように整えておられたことを。一彼らが信じた瞬間、聖霊によって神の家族へと移され、キリストの十字架のわざに基づいて罪が赦されたことを。世の人々には何も見えませんでした。しかし、彼らはすでに神の子どもとされ、神のすべての約束を受け継ぐ相続人となっていたのです。

しかし、彼らに対する神のご計画は、彼らがクリスチャンになった瞬間に完結したわけではありません。彼らは、神がそれぞれに定められた使命と目的を果たすために、この世に残されていたのです。神が各信者に与える具体的な使命や働きは一人ひとり異なりますが、その基本的な要素、つまりすべてのクリスチャンに共通する神のご計画の中心的目的は同じです。それは—— **靈的に成長すること、そして他の人々も靈的に成長できるよう助けることです。**

他の人々が霊的に成長するのを助けることを、「奉仕(ミニストリー)」と呼びます。イエス・キリストを信じる者として、私たちは皆、何らかの形で主の奉仕者(ミニスター)なのです。そして、たとえまだ霊的成熟の途中であっても、神は誰にでも他の人を助ける機会を備えてくださっています。たとえば、私たちの周りには励ましや助けを必要としているクリスチャンの友人や隣人がいます。そのような人々に心の支えや実助的な助けを与えることによって、私たちは彼らが共に霊的成熟という共通の目標に向かって進む道を歩むのを助けているのです。一般的に言えば、私たち自身が霊的に成長すればするほど、奉仕の内容はより具体的で効果的なものになっていきます。

通常の教会での奉仕や、他のクリスチャンたちへの支援に加えて、私たちは皆、イエス・キリストを救い主として受け入れた瞬間に、聖霊によって特別な霊的賜物(スピリチュアル・ギフト)を与えられています([第一コリント 12 章 11 節](#))。この霊的賜物とは、信者が成長するのを助けるための、ある種の「霊的な適性」や「特別な能力」だと考えると分かりやすいでしょう。たとえば、すべての人が宣教師に向いているわけではありません。けれども、神はご自身の知恵によって、この賜物を信者一人ひとりに異なる形でお与えになりました。そして、信仰者が霊的に成長し、自分の奉仕の分野が何であるかを思いめぐらすようになると、自然に自分の霊的才能にふさわしい方向へと導かれていくのです。(たとえば、宣教師の賜物を持つ人は、自然に宣教の働きへと心を向けていきます。)ここで強調しておきたいのは、霊的賜物を正しく用いるためには、**まず霊的成長**が必要であるということです。さらに言えば、自分がどの賜物を与えられているかを正しく見分けるためにも、時間と成長が不可欠なのです。

さらに、いくつかの霊的賜物は、効果的に用いられるようになる前に、特別な訓練や準備を必要とする場合があります。しかし、ここでとても大切なことは、キリストのからだ(すなわち教会全体)は、その**すべての**肢体(メンバー)とその**すべての**賜物を必要としているということです。パウロはこの点を、[コリントの信徒への手紙第一 12 章 12-31 節](#)の中で明確に説明しています。彼は、教会がすべての部分を必要としているのは、人間の体が目や耳だけでは成り立たないのと同じであると語ります。目だけの体、耳だけの体では生きることができないように、教会もまた、すべての信者が与えられた役割と賜物を正しく用いることで初めて健全に機能するのです。

もう一つ大切なことは、個々の奉仕(個人のミニストリー)は、世の中の基準で量ることができないという点です。私たちが天国に行ったとき、今この世で名の知れた(あるいは自らを宣伝している)多くの奉仕活動が、実際には主の前でほとんど成果を上げていなかったことに驚くかもしれません。パウロはこう語っています。「…(霊の賜物の)働きは種々あるが、すべてのものの中に働いてすべてのことをなさる神は、同じである

…」([第一コリント 12 章 5-7 節](#))つまり、次のようなことを意味しています。私たちは自分で霊的賜物を選ぶことはできません。また、その賜物がどのような形の奉仕として用いられるかも、自分で決めることはできません。さらに、私たちの奉仕がどれほどの結果を生むかも、私たちの手には委ねられていません。私たちは皆、主のぶどう園で働く労働者です。そして、働きの実りを増やしてくださるのは**主ご自身**なのです。私たちの努力が世の中の目には小さく、取るに足らないものに見えるかもしれません。しかし、もしその働きが神に喜ばれるものであるなら、それは世の中で称賛されるどんな活動よりも、神のご計画の中で遥かに価値あるものです。私たちがより成熟したクリスチャンへと成長していくにつれ、私たちの奉仕もまた、より効果的になっていきます。したがって、効果的な奉仕への鍵は、個人の霊的成長にあるのです。では——どうすれば霊的に成長できるのでしょうか？

手紙の冒頭で、ペテロは私たちが神の家族として選ばれた(選び＝選出)ことについて、三つの側面から説明しています(神のご計画の三段階についての詳細は第3巻を参照:第1段階＝救い／キリストへの信仰、第2段階＝時間／霊的成長、第3段階＝永遠／復活と報い)。

- ・ 父なる神は、私たちの救いを計画されました(予定＝予知)。
- ・ 御霊(聖霊)は、救いの実際の働きを担当されました(聖別)。
- ・ 御子イエス・キリストは、その代価を支払われ(贖い)、また私たちが救われるために信じる対象(信仰の中心)でられます。

この「三位一体による三重の働きの分担」は、神の計画の第二段階(信者がこの世で生きる時間の中にある段階)においても同じように見られます。三位一体のそれぞれの御方が、私たち一人ひとりに与えられた神の特別な目的を果たすために助けてくださっています。父なる神は、ご自身の計画を通して、私たちがこの悪魔の支配する世においても肉体的・霊的に支えられるよう備えてくださいます。イエス・キリストは、私たちの導き手であり、信仰生活の焦点でられます。また、十字架での御業によって成し遂げられた贖いの働きは今も続いており、私たちが罪を告白するときに、なおもその血によって清めてくださいます。聖霊は、私たちが神の真理を学び、それを実生活の中で生かすことができるよう助けてくださいます。これこそが、霊的成長の本質です。ペテロの第一・第二の手紙の多くの部分は、この霊的成長の問題を扱っており、またその教えを理解していることを前提としています。したがって、この箇所ですら少し時間を取って、

この主題を確認しておくのは適切です。今後の学びでは、この「神からの支援パッケージ」を詳しく見ていきますが、ここではその概要を簡単にまとめます。:

### **父なる神:後方支援(ロジスティクス)**

a. **物質的な支援:** 神は、私たちがこの世で生きるために必要なものすべてを備えてくださいます。たとえば、食べ物、住まい、衣服、またそれらを得るための仕事、さらには命の危険にさらされる状況での守りなどです。これらはすべて、私たちが神のご計画の中で日々を歩むために不可欠なものです。

b. **霊的な支援:** 神はまた、私たちが霊的に成長し、神の目的を果たすために必要なものすべてを与えてくださいます。たとえば、聖書、福音を聞く機会、教会、教師、霊的な賜物、そして学び・実践・奉仕のための機会などです。

### **御子イエス・キリスト:導き(リーダーシップ)**

a. **その御業:** イエス・キリストは十字架の上で、私たちの身代わりとなって死んでくださいました。この犠牲によって、神の怒りからの救いが可能となり、私たちの罪は赦されました。救いの後も、私たちが罪を告白するたびに、キリストの十字架の御業によって清められ、成長へと導かれます。

b. **その御人格:** イエス・キリストご自身は、私たちの愛の対象であり、模範であり、また信仰の中心(みことば)です。つまり、キリストについて学び、キリストのように生き、キリストのために生きることこそ、霊的成長の本質なのです。

### **聖霊:学び(ラーニング)**

a. **みことばの働き:** 私たちが神の真理を理解し、本当に悟ることができるのは、聖霊の働きによるものです。聖霊が私たちの心を照らし、みことばの意味を明らかにしてくださいます。

b. **私たちの生活への働き:** 聖霊はまた、私たちが知っている真理を日々の生活の中で適用できるように助けてくださいます。これは、日々のクリスチャン生活や個人的な奉仕活動において欠かすことのできない要素です。

次の学び:「ペテロ#11:自然啓示と特別啓示」へ進みます」